

◆浦高同窓会総会・川野会長4期目へ



平成26年5月25日(日)午後2時から、浦和ロイヤルパインズホテル4階ロイヤルクラウンにて、「平成26年度 浦和高校同窓会 総会」が開催された。川野幸夫会長の挨拶、ご来賓の杉山剛士浦和高校校長のご挨拶のあと、以下の3議案が審議され全会一致で承認された。

◇第一号議案 平成25年度事業報告案及び決算案の承認について

監査報告

◇第二号議案 平成26年度事業計画案及び予算案の承認について

◇第三号議案 役員改選について

25年度事業の中では、母校創立120周年事業として進められている“公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団”の設立(同窓会会計から2,900万円を財団へ支出)が特筆される。この結果、次期への繰越金は5,000万円余。また、26年度事業計画では、9月13日(土)～14日(日)に開催される“浦高祭”の中での“百年の森展示会”が予定されるとともに、“同窓会のあり方検討委員会”が設置される。

役員改選では、川野幸夫会長(高13)が4選され、副会長には加瀬 豊氏(高17)、木村恵司氏(高17)、岩渕 均氏(高18)、野辺 博氏(高24)の4人が新たに選出され、3期目の小室正人氏(高19)と合わせて5人体制となった。また地域職域同窓会からの推薦で9人の常任理事が新任され、監事には新たに高橋宜治氏(高22)が選出された。

4期目を迎えた川野会長からは、「母校や浦高生が“尚文昌武”の伝統の中でさまざまな分野で活躍し、今や埼玉の浦高から日本の浦高、さらには世界のリーダーたる人材を輩出する学校へと進化しております。また浦高同窓会も、百年の森事業、奨学財団などの大きな事業を進めており、同窓会のあり方も大きく変わりつつあります。そこで5人の副会長には、それぞれの役割分担の中で働いていただくとともに、新たな時代にふさわしい同窓会づくりを一緒に進めてもらいたいと考えています。会員の皆様のなお一層のご支援を賜りたい。」と述べられた。

報告事項では、“公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団”“麗和知的財産委員会”“浦高ラグビー部全国大会出場特別後援会”の活動などが報告され、浦高経営者研究会から奨学財団へ100万円の寄付や画家の佐藤義夫氏(高9)から水彩画の寄付なども行われた。

午後3時30分からは、大野 曜吉氏(高24、日本医科大学大学院研究科教授)から「浦高男児の正しい散りかた ～死んだらどうなる？法医学の視点から～」という題の講演会が行われ、4時20分からは懇親会が盛大に行われた。出席者は約250名でした。【報告者：香田寛美(25回)、常任理事】